



杉村楚人冠記念館 春季企画展 「楚人冠とアートー芸術家たちとの交流ー」

楚人冠が生きた明治時代、文明開化によって西洋の文化が次々と日本に入り、芸術の分野でも西洋美術を見た日本の芸術家が大きな影響を受け、日本美術作品の幅も広がっていきました。

今回の展示では、楚人冠と関わった5人（伊東忠太、河村蜻山、北沢楽天、結城素明、和田英作）の芸術家を取り上げます。彼らに関する15点の作品や楚人冠とのやり取りをとおして、楚人冠とどのような繋がりを持っていたのか紹介します。

期 間：1月7日（火）～6月29日（日）午前9時～午後4時30分（入館4時まで）

※月曜休館（祝日の場合は翌平日）

場 所：杉村楚人冠記念館

入館料：300円（高校・大学生200円、中学生以下無料）

主な展示資料

- ・^{ゆうき}結城 ^{そめい}素明《縦横先生肖像画》

写実的で色鮮やかな花鳥画を数多く描いた日本画家です。東京美術学校（現東京藝術大学）の教授として後進の育成にも励み、東山魁夷などを指導しました。結城と楚人冠は青年時代に出会い、生涯にわたり交流を続けました。本作は、楚人冠の背の高さをデフォルメして描いた可愛い作品です。

- ・^{わだ}和田 ^{えいさく}英作《油彩画 富士山》大正9（1920）年

写実的で堅実な画面を得意とした洋画家です。東京美術学校校長や法隆寺壁画の模写制作など、精力的に活動しました。本作は、東京朝日新聞の大正8（1919）年新年付録に掲載したものを、補正して楚人冠へ贈った作品です。雄大で神々しい富士山の描写から、和田の技術の高さがうかがえます。

【問い合わせ】

我孫子市教育委員会生涯学習部
文化・スポーツ課 杉村楚人冠記念館
担当：武藤
電話：04-7187-1131

杉村楚人冠記念館 春季企画展

楚人冠とアート

— 芸術家たちとの交流 —



和田英作 《油彩画 富士山》

令和7年1月7日（火）～6月29日（日）

 物語の生まれるまちあびこ



展示情報はこちら



我孫子市杉村楚人冠記念館

〒270-1153 千葉県我孫子市緑 2-5-5 電話 04-7187-1131

The Haven Abiko, Chiba-ken … 安息の地、千葉県我孫子

近代日本が生んだ素晴らしい芸術家たちの作品を、 大正ロマン溢れる邸宅でごゆっくりお楽しみください。

東京朝日新聞社のジャーナリストとして、幅広い人脈を持っていた杉村楚人冠。彼の交友関係は、同時期に活躍した芸術家にまで及んでいました。

築地本願寺を建築した伊東忠太や、東京美術学校校長として活躍した和田英作など、彼らの作品や楚人冠宛の書簡をとおして、楚人冠と芸術家との交流をご紹介します。



結城素明
《縦横先生肖像画》



河村蜻山
《置物（鳩）》

杉村楚人冠の邸宅

古きよき大正から昭和が息づく家

東京朝日新聞社のジャーナリスト・杉村楚人冠は、明治45年（1912）、千葉県我孫子に別荘を設け、大正12年（1923）の関東大震災をきっかけに一家で移住し、亡くなるまでをこの湖畔の地で過ごしました。

楚人冠が「The Haven Abiko, Chiba-ken」（安息の地、千葉県我孫子）と称した、風光明媚な我孫子の邸宅でのひと時を、どうぞお楽しみください。



名随筆が生み出された「書齋」



応接室「サロン」

母屋の内部



現在の杉村楚人冠邸園



庭を散歩する楚人冠

園内の様子

我孫子市杉村楚人冠記念館

開館時間：午前9時～午後4時30分（入館午後4時まで）

休館日：月曜日（月曜が休日の場合、直後の平日）

入館料：一般300円／高校・大学生200円 中学生以下無料

団体20名以上2割引 障がい者免除あり

3館共通券（白樺文学館・鳥の博物館共通、有効期限1か月）

一般500円／高校・大学生400円

2館共通年間パスポート（白樺文学館共通、1年間入館可、特典あり）

一般2,000円

交通手段：JR常磐線・成田線我孫子駅下車 南口より徒歩9分

阪東バス 緑一丁目・寿一丁目・アビスタ前下車 徒歩5分

駐車場はありません、公共交通機関をご利用ください。

